

三重県経済の動向（2024年4月） No. 559

【現在の景気】 一部に足踏みもみられるが持ち直している（※24年1月～3月の指標より（一部除く））

能登半島地震による部品不足や一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響等で生産は弱含み、個人消費の一部に足踏みもみられるが、設備投資、雇用等は持ち直し、基調としては持ち直し。

<当月のポイント>

- ・生産指数（2月）は、前月比で輸送機械が大幅に低下、電子デバイスは上昇。
- ・常用雇用指数（1月）は前年比17か月連続の上昇。所定内給与額（1月）は前年比11か月連続の増加。
- ・百貨店・スーパー販売額（2月）は全店、既存店とも前年比増加。家計消費支出（2月）は2か月ぶり増加。乗用車新車販売（3月）は一部メーカー不正の影響で前年比減少。

【当面の見通し】 下振れリスクはあるものの、緩やかな持ち直しが続く

生産・個人消費ともに、一部自動車メーカーの生産・出荷停止が一時的な下押し要因となるが、生産再開の中で持ち直しが期待される。個人消費は、雇用・所得環境改善による持ち直しも期待される。中国など海外景気等の下振れリスクはあるが、総じて緩やかな持ち直しが続く見通し。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	持ち直している	一部に足踏みもみられるが持ち直している	一部に足踏みもみられるが持ち直している	→	—
1. 企業の景況感	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	2
2. 生産	一部で持ち直しの動きがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	3
3. 輸出	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	3
4. 設備投資	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	4
5. 企業倒産	増加の動きがみられる	減少の動きがみられる	減少の動きがみられる	→	4
6. 雇用	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	5
7. 賃金	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	6
8. 個人消費	持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	6
9. 住宅投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	7
10. 公共投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したものの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所

コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 県内企業の景況感

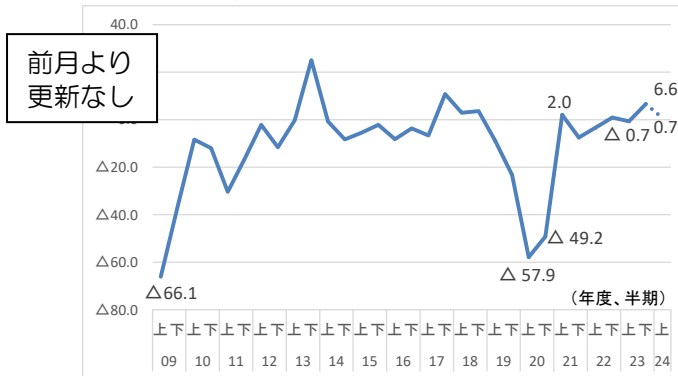
【現状】 <持ち直している>

- 当社景況調査（半期、1月実施）では、23年度下期の業況判断 BSI は+6.6 と、プラスに転じる。
- 法人企業景気予測調査（四半期、2月実施）では、24年1-3月期の景況判断 BSI は△7.2%ポイントの「下降」超。

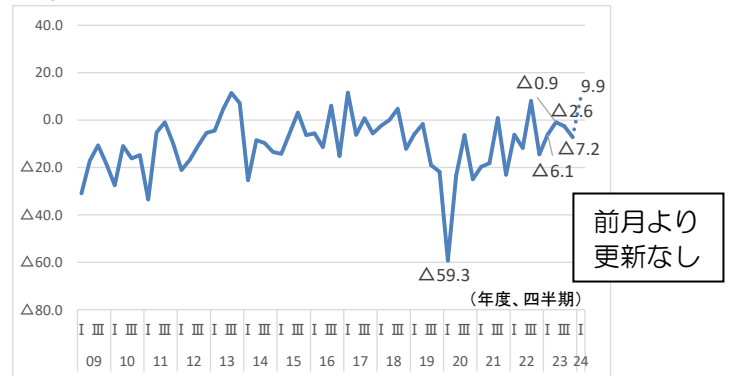
【見通し】

- 当社景況調査では、24年度上期（見通し）の業況判断 BSI は+0.7 と、プラス幅縮小の見通し。
- 法人企業景気予測調査の24年4-6月期（見通し）の景況判断 BSI は、9.9%ポイントで「上昇」超で推移する見通し。

■業況判断 BSI（当社景況調査、1月実施）



■景況判断 BSI（法人企業景気予測調査、2月実施）



資料：当社「景況調査」（24年1月、424社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（24年2月、111社）

(2) 景気動向指数 ※2024年1月公表分より2020年基準に改定

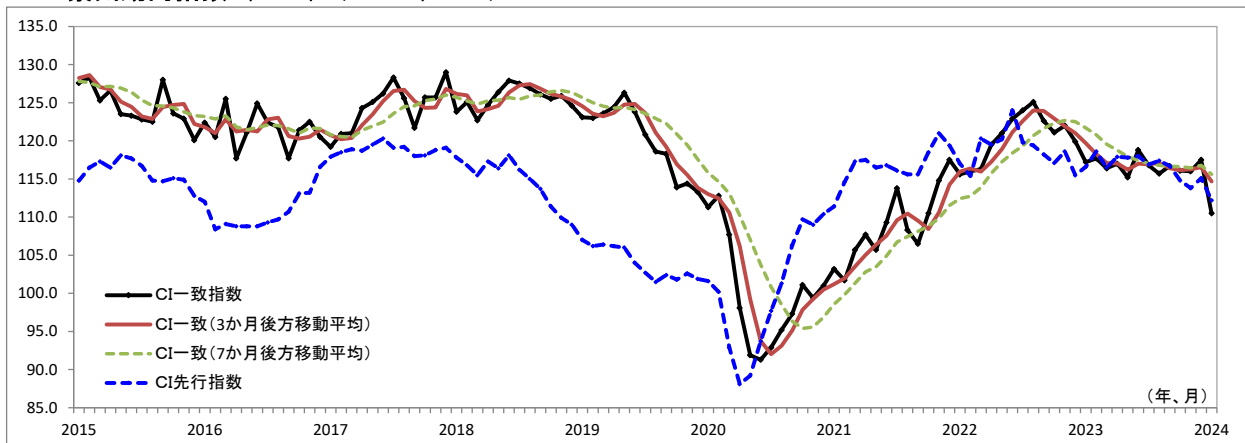
【現状】

- 1月の景気動向指数（CI）一致指数は、110.5で前月差△7.0ポイント。3か月後方移動平均（△1.86ポイント）は3か月ぶりの下降、7か月後方移動平均（△1.19ポイント）は2か月ぶりの下降となった。三重県が内閣府の判断基準に準じて判断した基調では、「悪化」としている。

【見通し】

- 1月の景気動向指数（CI）先行指数は、112.2で前月差△2.9ポイント。3か月後方移動平均（△0.87ポイント）は7か月連続の下降、7か月後方移動平均（△0.83ポイント）は5か月連続の下降となった。

■景気動向指数（CI）（2020年=100）



※複数の指標の動きを統合して単一指標で景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する。「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

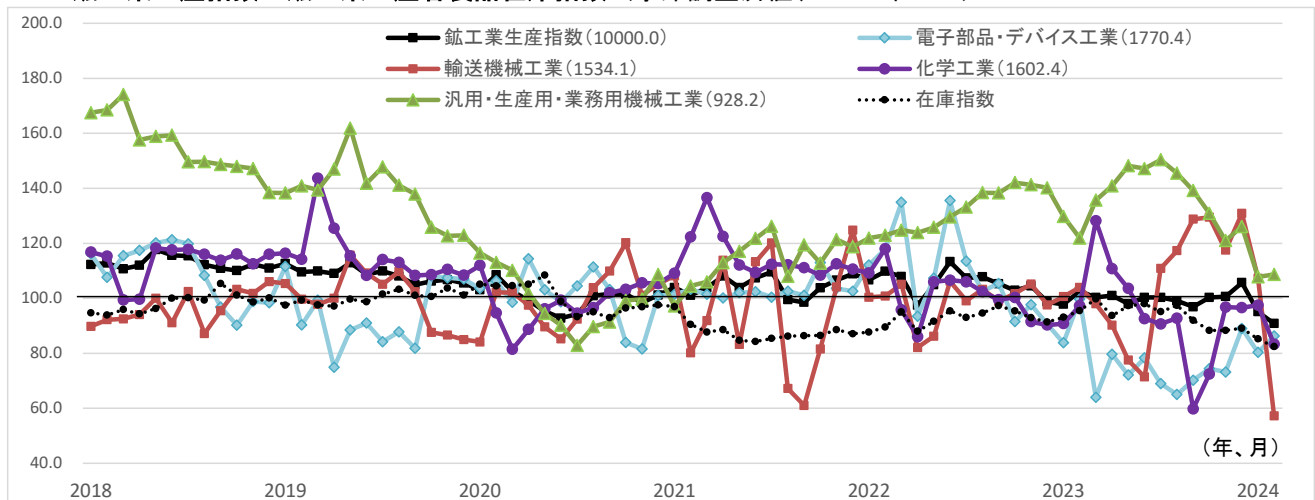
資料：三重県「三重県景気動向指数（CI）」

2. 生産

【現状】＜持ち直しに足踏みがみられる＞ ※2024年1月公表分より2020年基準に改定

- 2月の鉱工業生産指数（季調済）は90.8で、前月比△4.5%と2か月連続の低下、原数値は88.4で前年比△11.7%と2か月連続の低下となった。
- 生産指数を業種別にみると、輸送機械は、前月比で△46.7%と2か月連続で大幅に低下、前年比でも△44.0%と8か月ぶりに低下した。自動車関連生産は、半導体不足の緩和等により持ち直していたが、元旦に発生した能登半島地震による部品不足やダイハツ工業および豊田自動織機の不正による生産停止などが影響し低下。汎用・生産用・業務用機械は前月比+0.8%とわずかに上昇。電子部品・デバイスは前年比17か月連続の低下も、前月比では2か月ぶりの上昇。化学工業は、前月比・前年比ともに低下。

■ 鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2020年=100）



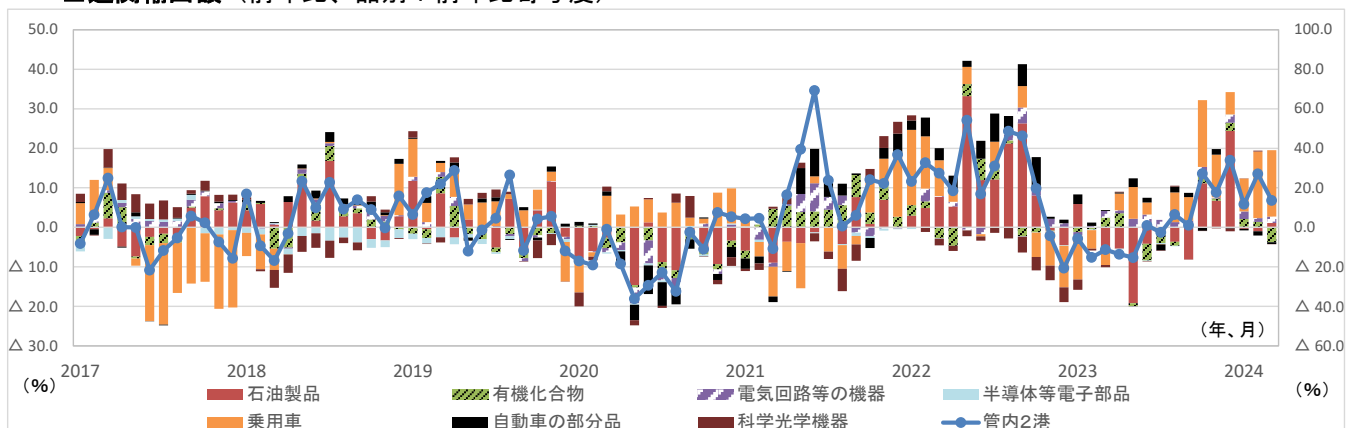
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】＜持ち直している＞

- 3月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比+13.6%と8か月連続の増加、主要港である四日市港は+22.9%と8か月連続の増加となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、有機化合物、自動車の部分品などが減少したものの、乗用車、電気回路等の機器、石油製品、映像機器などが増加に寄与した。

■ 通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

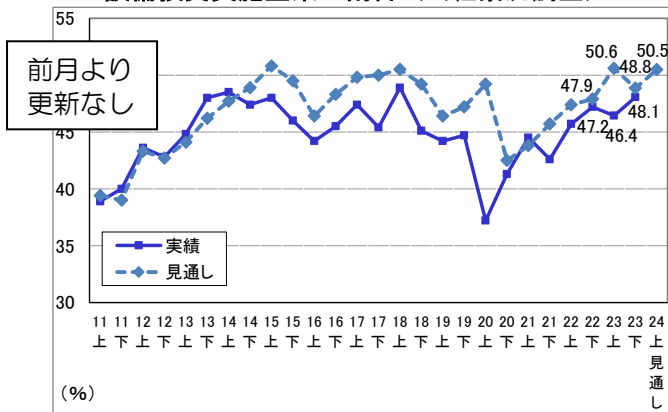
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

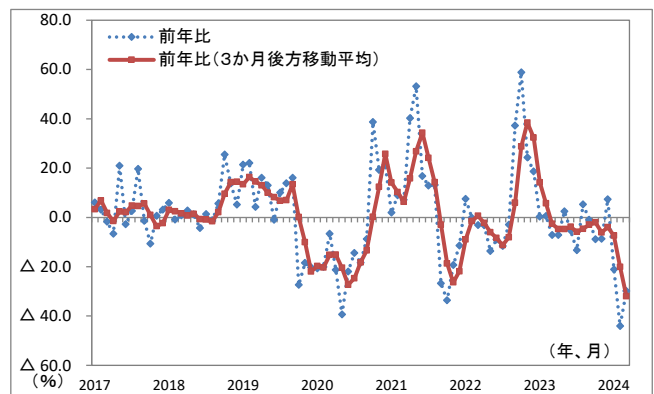
【現状】 <持ち直している>

- 当社景況 1月調査では、23年度下期の設備投資実施（見込み）企業割合は48.1%となり4半期連続でコロナ禍前を上回り高い水準となった。24年度上期は50.5%の見通し。法人企業景況予測調査（2月調査）では、23年度投資額は前年度比+45.7%の増加見込み。
- 3月の貨物車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）は前年比△29.9%となり、3か月連続の減少。普通貨物（+9.7%）は2か月ぶりの増加、小型貨物（△45.6%）は5か月連続の減少、軽貨物（△32.2%）は3か月連続の減少。一部自動車メーカーの不正に伴う生産・出荷停止の影響。
- 2月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比△66.4%と2か月連続の減少となった。
- 12月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比△9.5%の低下も、前月比は+0.6%の上昇。

■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）

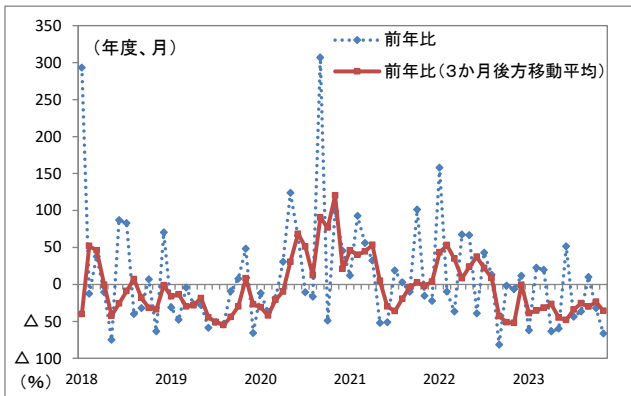


■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）

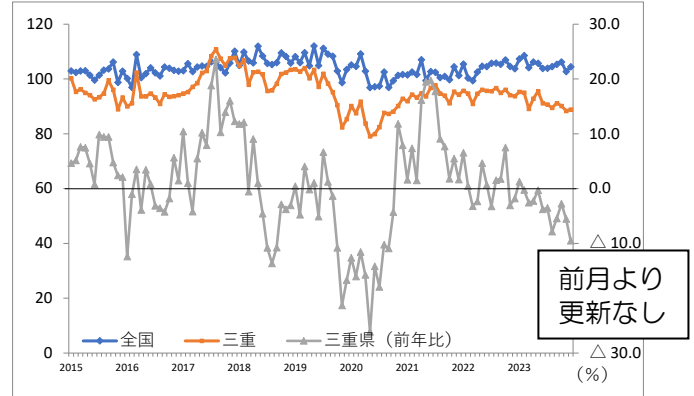


※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」

■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）



■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。
 ※資料：内閣府「地域別支出総合指数」／当社「景況調査」（投資額 500 万円以上）

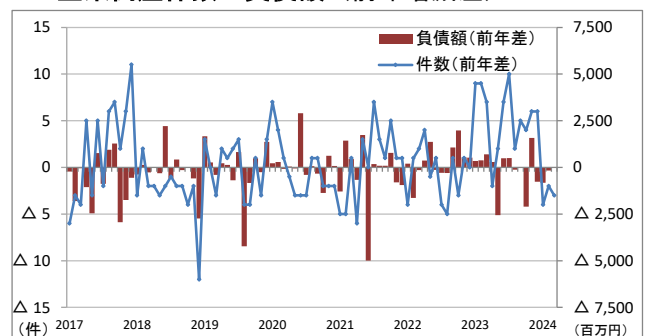
5. 企業倒産

【現状】 <減少の動きがみられる>

- 3月の企業倒産件数は11件（前年差△3件）で3か月連続の減少、負債額は12億51百万円（前年差+16百万円）で4か月ぶりの増加となった。

※負債額 1,000 万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）

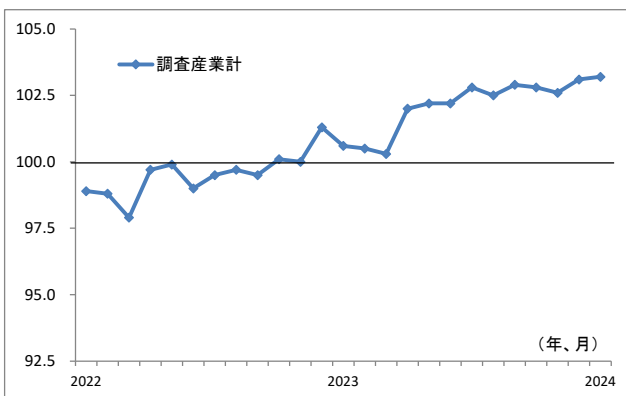


6. 雇用

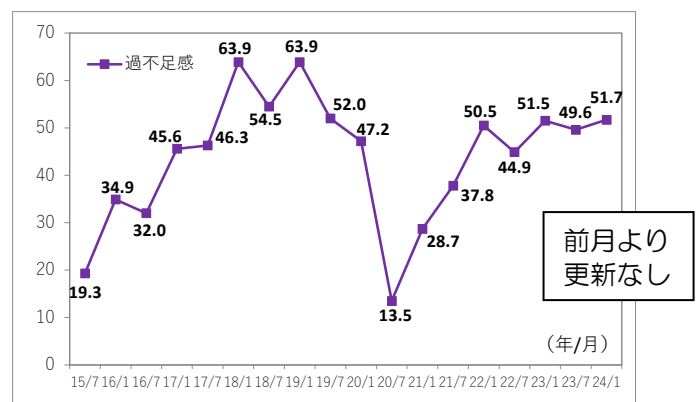
【現状】<持ち直している>

- 1月の常用雇用指数は103.2で、前年比+2.6%となり、17か月連続の上昇となった。
- 当社景況1月調査では、57.6%の企業が人員は「不足・やや不足」と回答し、過不足感は+51.7とコロナ禍前（20年1月）を超える大幅な「不足」超が続いている。法人企業景気予測調査（2月調査）では、「不足気味」超幅は拡大した。
- ハローワークにおける2月の有効求人倍率（季調済）は1.24倍で、前月比△0.01ポイントとなり、9か月連続で全国を下回った。有効求人数（原数値）は前年比△8.2%で12か月連続の減少、有効求職者数（原数値）は+2.5%で9か月連続の増加となった。
- 雇用保険の基本手当受給者実人員（1月）は、前年比+5.2%で11か月連続の増加となった。
- 民間及びハローワークのWeb求人情報サイトにおける求人情報数（2月平均）は、2019年比で+14.6%と大幅な上昇が続き、5か月連続の上昇となった。

■常用雇用指数（2020年=100）



■人員の過不足感（不足割合－過剰割合）

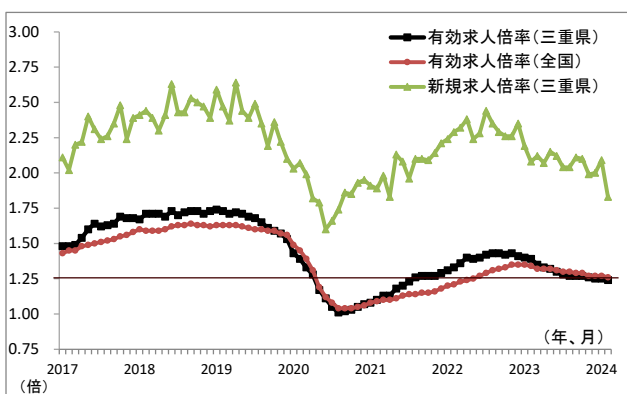


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員＋パートタイム労働者）を指数化したもの。2024年1月分公表時に、ベンチマーク更新に伴い過去に遡って改訂されている。

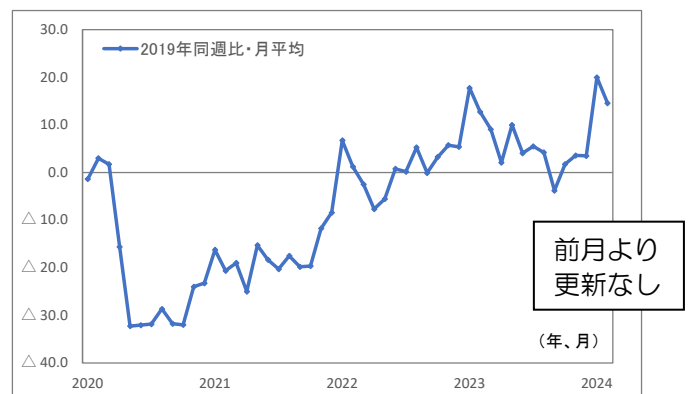
※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）



■求人情報数（民間、ハローワークの求人情報サイト）



※人員の過不足感 = 「不足」 + 「やや不足」の割合 - 「過剰」 + 「やや過剰」の割合

※求人情報数は、Web上の複数の求人情報サイトから収集された数。民間及びハローワーク全24サイト。2019年同週比から当社で月平均算出。

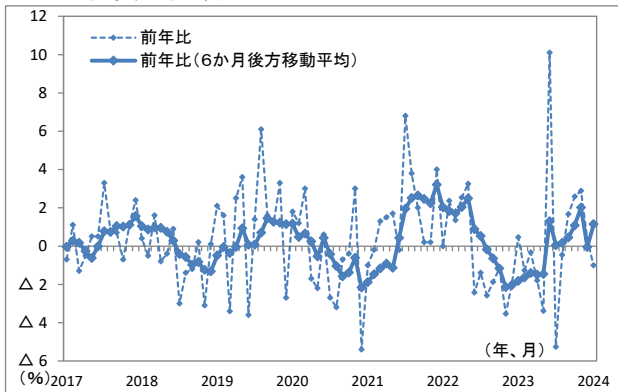
資料：当社「景況調査」、内閣府 V-RESAS（株式会社フロッグ HRog リスト for アカデミア）より当社作成

7. 賃金

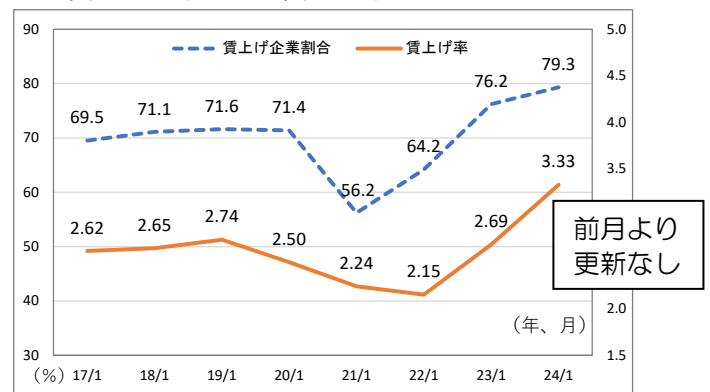
【現状】 <持ち直している>

- 1月の名目賃金指数（現金給与総額）は、前年比 Δ 1.0%と5か月ぶりの低下となり、うち所定内給与（実額）は11か月連続で前年比増加した。実質賃金指数は Δ 2.9%と2か月連続で低下した。
- 当社景況調査（1月実施）では、23年中に賃金を「引き上げた」は79.3%と、前年を3.1ポイント上回った。賃上げ率は回答平均で3.33%と、22年中（2.69%）より大きく上昇した。

■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



■賃上げ企業割合・賃上げ率（1月時点）



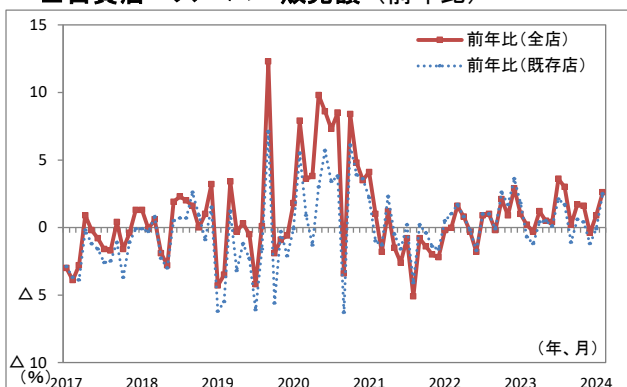
※事業所規模5人以上、2020年=100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。
 ※賃上げ企業割合は、当年中に、賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。賃上げ率は改定前比。
 資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」（各年1月実施分）

8. 個人消費

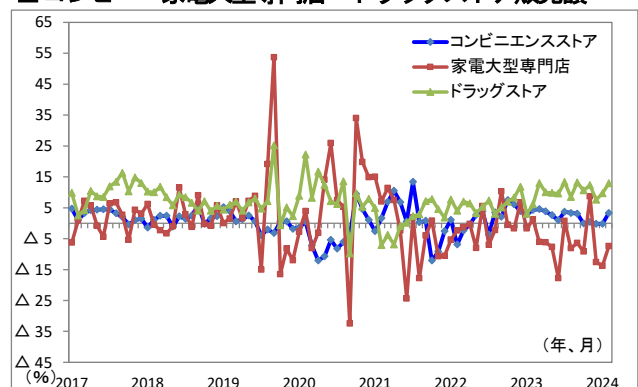
【現状】 <持ち直しに足踏みがみられる>

- 2月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比+2.6%）は2か月連続の増加となり、既存店（+2.5%）は3か月ぶりの増加となった。
- 2月のコンビニエンスストア販売額（+3.3%）は前年比3か月ぶりの増加、ドラッグストア（+12.9%）は33か月連続の増加となったが、家電大型専門店（ Δ 7.4%）、ホームセンター（ Δ 0.1%）の販売額は3か月連続の減少となった。
- 3月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（ Δ 24.9%）は前年比3か月連続の減少となった。普通（ Δ 14.6%）は2か月連続の減少、小型（ Δ 38.3%）は7か月連続の減少、軽（ Δ 29.6%）は4か月連続の減少。一部自動車メーカーの不正に伴う生産・出荷停止の影響。
- 2月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（+18.6%）は前年比2か月ぶりの増加。
- 3月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比+1.8%と26か月連続の上昇。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）

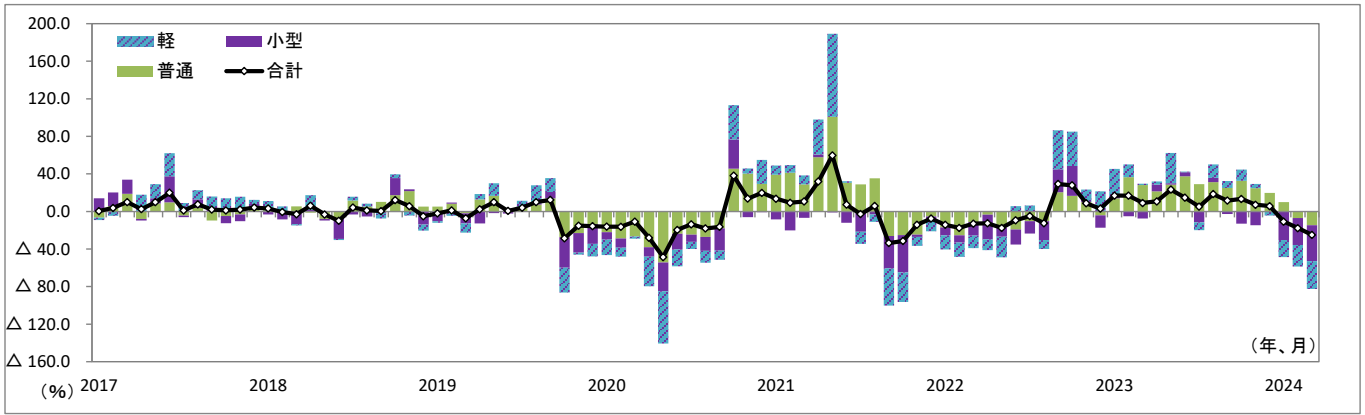


■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



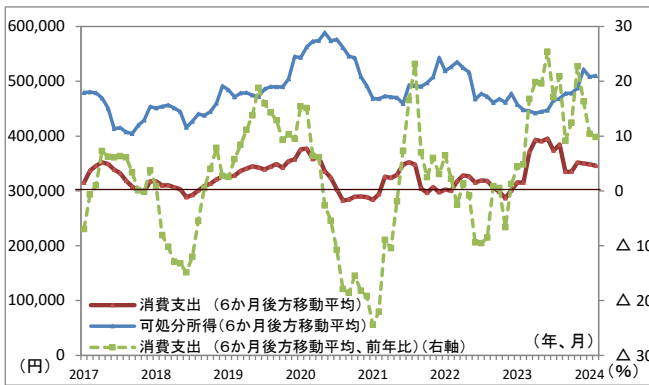
※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。
 資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

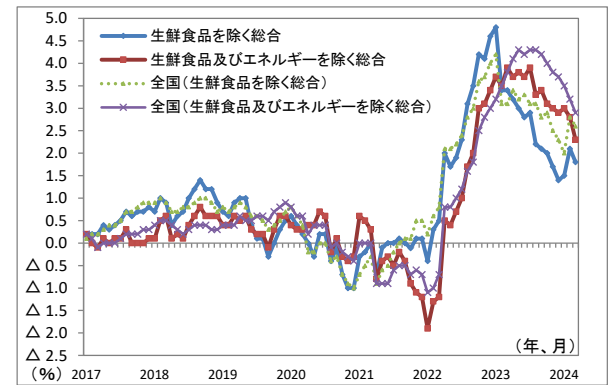


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）



※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯あたりの月平均。

※津市の調査結果は、標本世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意。

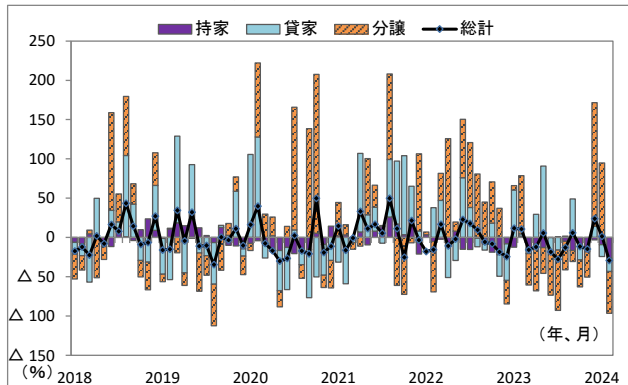
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

9. 住宅投資

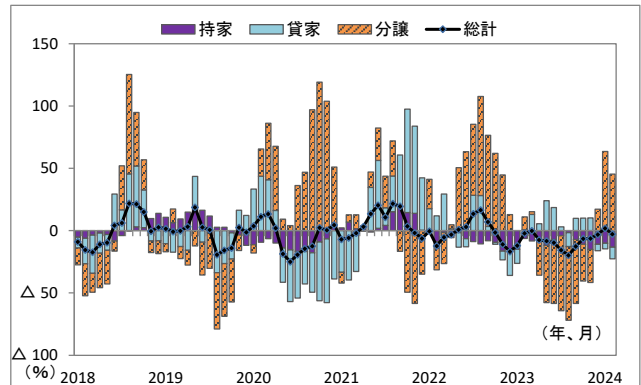
【現状】＜足踏み＞

○2月の新設住宅着工戸数は、前年比 $\Delta 29.2\%$ で3か月ぶりの減少、3か月後方移動平均では2か月ぶりの減少となった。持家（ $\Delta 26.3\%$ ）は前年比7か月連続の減少、貸家（ $\Delta 17.0\%$ ）は2か月連続の減少、分譲（ $\Delta 53.2\%$ ）は3か月ぶりの減少となった。床面積（ $\Delta 32.8\%$ ）は3か月ぶりの減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

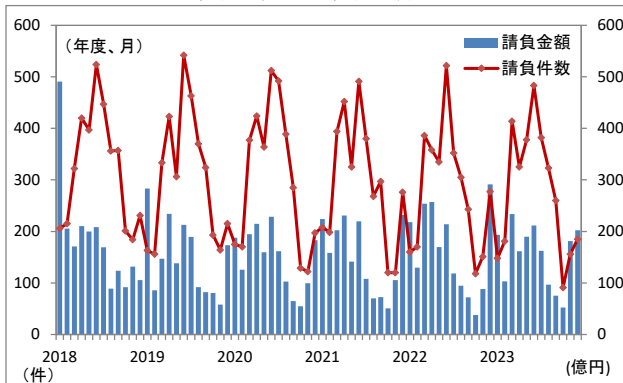
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

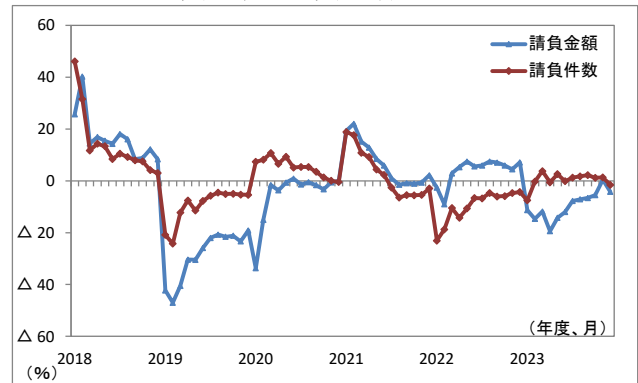
【現状】＜足踏み＞

- 3月の公共工事請負件数は前年比△33.2%の減少、請負金額は△30.6%の減少となった。請負金額は年度累計（23年4月～24年3月）では2か月ぶりの前年比減少となった。
- 年度累計の請負金額について、発注者別にみると、町（+65.4%）、国土交通省（+11.5%）、県農林水産部（+2.2%）などは増加したが、県土整備部（△10.5%）、港管理組合（△69.5%）、中日本高速道路㈱（△23.9%）などが減少した。工事場所別では、明和町、いなべ市、大台町などは増加したが、津市、志摩市、桑名市、松阪市、鈴鹿市などでは減少した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）
 ※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他
 資料：東日本建設業保証㈱

<トピックス>

- ◆ 和菓子の老舗である㈱御福餅本家は3月31日、店舗と甘味処を併設した新工場を伊勢市にオープンさせた。新工場は、国指定の重要文化財「資日館」に隣接した景観計画重点地区に位置するため、景観を維持した伝統的な建築様式を取り入れている。新工場の1階が店舗兼甘味処、3階が本社と工場で、延床面積は約900㎡。
- ◆ 冷凍調理麺の製造・販売を行う㈱キンレイ（京都）は、冷凍うどんやラーメンの製造体制強化と安定供給を目的に、国内3拠点目となる新工場「亀山工場」の建設を2022年より開始。新工場の第一期工事が完成し、4月1日から稼働を開始させた。建設地は、亀山市の工業団地「亀山・関テクノヒルズ」で、工場用地面積は約35,764㎡。総投資額は約70億円。今後、第二期・第三期の工事を予定しており、最終的に従業員約250名の雇用を見込む。
- ◆ 国土交通省は4月1日、「四日市港湾岸直轄海岸保全施設整備事業」を令和6年度新規事業として採択したと発表。四日市港海岸は液状化層が堆積しており、地震発生時には防護機能が損なわれる可能性がある。同事業では、南海トラフ地震及び地震に伴う津波や台風等による高潮から背後地域を守り、安全・安心を確保するため、石原地区・塩浜地区の約5kmについて海岸保全施設の耐震対策と嵩上げを行う。事業期間は2024年度から2035年度まで。総事業費は約250億円で、2024年度予算配分額は5.49億円（直轄事業費）。

三重県主要経済指標

Table with 7 main columns: 景気動向指数C I (先行), 景気動向指数C I (一致), 業況判断BSI (年度半年期), 業況判断BSI (年度四半期), 鉱工業生産指数, 鉱工業在庫指数. Rows include 2021, 2022, 2023, and monthly data from June 2022 to March 2024.

Table with 5 main columns: 輸出 (億円), 輸入 (億円), 貨物車販売 (普通+小型, 軽), 非居住用建築物着工床面積 (㎡), 企業倒産 (件数, 負債額). Rows include 2021, 2022, 2023, and monthly data from June 2022 to March 2024.

Table with 5 main columns: 常用雇用指数, 名目賃金指数, 有効求人倍率, 求職者数, 新規求人倍率. Rows include 2021, 2022, 2023, and monthly data from June 2022 to March 2024.

*1: 月別の数値は季節調整済値 *2: 年数値については原指数、前年比 *3: 2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。 *4: 負債額1千万円以上 *5: 事業所規模5人以上 *6: 年数値は年間の月平均 *7: 既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所 *8: 前年(度・同期・同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している *9: 「家計調査」により津市において調査した世帯(単身世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。 *10: 官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8 (百万円)	前年比 (既存店)	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11			(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2021年	108.6	8.6	119.9	19.8	306,526	△ 0.7	45,510	1.9	28,713	△ 1.9	322,726	5.3
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	308,628	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
2023年	96.3	△ 11.8	111.8	—	—	0.3	48,492	15.3	31,028	7.8	372,845	21.0
22年 6月	107.7	2.5	121.2	3.5	24,953	△ 1.7	3,089	△ 18.0	2,306	5.6	258,161	△ 32.6
7月	104.8	△ 6.3	124.2	△ 1.0	25,820	1.0	3,418	△ 11.4	2,368	6.3	334,962	18.1
8月	101.9	△ 4.9	122.7	7.6	26,233	1.0	2,868	△ 14.3	1,835	△ 9.4	280,685	△ 5.5
9月	101.9	△ 3.0	117.4	5.1	24,733	△ 0.1	3,797	21.9	2,603	41.7	279,377	14.0
10月	108.7	△ 0.3	120.5	5.7	25,538	2.6	3,497	22.4	2,432	36.6	292,834	4.1
11月	106.7	△ 9.3	127.3	△ 4.8	25,419	1.7	3,704	5.9	2,559	13.0	274,290	△ 22.2
12月	106.7	△ 11.5	122.0	△ 11.2	30,676	3.6	3,389	△ 7.4	2,494	21.4	345,222	5.9
23年 1月	106.7	△ 4.3	109.8	△ 13.2	26,787	1.8	3,813	9.4	2,905	28.8	421,638	35.0
2月	97.1	△ 15.1	118.2	△ 11.9	23,849	△ 0.7	4,438	19.1	3,018	13.6	276,418	△ 3.2
3月	103.8	△ 14.4	110.6	△ 18.4	24,812	△ 1.2	6,247	13.8	3,509	1.4	615,722	76.7
4月	100.0	△ 15.5	109.8	△ 16.7	24,862	0.4	3,411	16.2	2,246	3.5	426,728	23.9
5月	91.3	△ 13.7	102.3	△ 11.7	25,641	0.5	3,136	17.9	2,168	32.2	257,310	△ 24.9
6月	94.2	△ 12.5	109.8	△ 9.4	25,048	0.1	3,863	25.1	2,321	0.7	373,956	44.9
7月	95.2	△ 9.2	113.6	△ 8.5	26,755	2.1	3,909	14.4	2,174	△ 8.2	290,877	△ 13.2
8月	88.5	△ 13.2	108.3	△ 11.7	27,010	1.7	3,476	21.2	2,097	14.3	343,250	22.3
9月	94.2	△ 7.6	115.2	△ 1.9	24,778	△ 1.1	4,341	14.3	2,798	7.5	315,999	13.1
10月	95.2	△ 12.4	113.6	△ 5.7	25,979	0.6	3,991	14.1	2,728	12.2	429,752	46.8
11月	96.2	△ 9.8	118.9	△ 6.6	25,832	0.4	4,040	9.1	2,673	4.5	357,713	30.4
12月	93.3	△ 12.6	111.4	△ 8.7	30,556	△ 1.2	3,827	12.9	2,391	△ 4.1	364,779	5.7
24年 1月	92.3	△ 15.8	104.5	△ 4.8	27,002	△ 0.1	3,615	△ 5.2	2,379	△ 18.1	279,701	△ 33.7
2月	—	—	—	—	24,472	2.5	3,807	△ 14.2	2,325	△ 23.0	327,768	18.6
3月	—	—	—	—	—	—	4,851	△ 22.3	2,472	△ 29.6	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
	前年比		*10	前年度比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2021年	10,203	6.7	1,815	2.2	99.9	△ 0.1	99.6	△ 0.4
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3	100.6	0.9
2023年	9,224	△ 6.9	1,862	△ 4.2	105.0	2.7	104.1	3.5
22年 6月	1,029	22.8	254	25.4	101.9	1.9	100.3	0.7
7月	1,041	17.9	257	11.4	102.4	2.3	100.8	1.0
8月	1,013	9.5	170	20.1	103.1	3.1	101.4	1.7
9月	857	△ 5.8	214	△ 2.5	103.2	3.5	101.3	2.0
10月	829	△ 8.2	119	9.6	103.8	4.2	101.8	3.0
11月	748	△ 18.6	95	35.3	103.9	4.1	102.0	3.1
12月	581	△ 24.5	72	△ 0.5	104.4	4.6	102.2	3.4
23年 1月	747	11.7	38	△ 25.8	104.5	4.8	102.3	3.7
2月	708	10.6	88	△ 16.2	103.8	3.4	102.5	3.5
3月	803	△ 15.8	291	25.5	104.3	3.4	103.1	3.9
4月	725	△ 12.0	193	△ 11.3	104.9	3.2	103.7	3.7
5月	768	5.6	103	△ 20.4	104.7	3.0	103.8	3.8
6月	839	△ 18.5	234	△ 7.9	104.7	2.8	104.0	3.7
7月	752	△ 27.8	161	△ 37.2	105.4	2.9	104.7	3.9
8月	883	△ 12.8	190	11.9	105.4	2.2	104.7	3.3
9月	908	6.0	211	△ 1.2	105.4	2.1	104.8	3.4
10月	733	△ 11.6	162	36.8	105.8	2.0	105.0	3.1
11月	638	△ 14.7	96	1.9	105.7	1.7	105.1	3.0
12月	720	23.9	75	4.2	105.8	1.4	105.2	2.9
24年 1月	757	1.3	52	38.7	106.0	1.5	105.4	3.0
2月	501	△ 29.2	181	105.0	106.1	2.1	105.4	2.8
3月	—	—	202	△ 30.6	106.2	1.8	105.5	2.3
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証機構		総務省統計局			